

第8期

運用報告書(全体版)

為替参照 分配金変動型 円建て債券ファンド2012-01 (愛称 グッド・スマイル2012-01)

【2016年1月18日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
皆様の「為替参照 分配金変動型円建て債券ファンド2012-01 (愛称 グッド・スマイル2012-01)」は、
2016年1月18日に第8期決算を迎えましたので、期中
の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し
上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単字型投信／海外／その他資産（通貨）／ 特殊型（条件付運用型）
信託期間	2012年1月31日から2017年1月17日まで です。
運用方針	主として、高格付（取得時において、A格相 当以上を基本とします。）のユーロ円建て債 券に投資し、償還価額が投資元本に最終計 算期間の分配相当額を加算した価額とな ることを目標とします。 投資対象とするユーロ円建て債券は、米ド ル／円為替レートの水準に応じてクーポン が決定される仕組みです。
主要投資 対象	高格付（取得時において、A格相当以上を基 本とします。）のユーロ円建て債券を主要投 資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年1月17日、7月17日（それぞれ休業日 の場合は翌営業日）に決算を行い、原則と して、以下の方針に基づき収益分配を行 います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または 経費控除後の利子・配当等収益のいずれか 多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、目標分配額を参 考に、基準価額水準、市況動向等を勘案し て決定します。ただし、分配対象収益が少 額の場合には、収益分配を行わないことが あります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受益者 利益回り	米ドル/円為替レート (参考為替)		債組入比率	券元残存率
		税金 込み	期中 騰落	期中 騰落率		期騰落	期中 騰落率		
(設定日)	円	円	円	%	%	円	%	%	
2012年1月31日	10,000	—	—	—	—	76.19	—	100.0	
1期(2012年7月17日)	9,211	80	△709	△7.1	△15.4	78.92	3.6	97.4	
2期(2013年1月17日)	9,850	80	719	7.8	0.1	88.73	12.4	97.4	
3期(2013年7月17日)	9,776	80	6	0.1	0.1	99.40	12.0	97.2	
4期(2014年1月17日)	10,069	80	373	3.8	2.0	104.34	5.0	97.2	
5期(2014年7月17日)	10,094	80	105	1.0	2.0	101.49	△2.7	97.1	
6期(2015年1月19日)	10,000	80	△14	△0.1	1.6	117.10	15.4	96.9	
7期(2015年7月17日)	9,952	80	32	0.3	1.5	124.05	5.9	96.8	
8期(2016年1月18日)	9,844	80	△28	△0.3	1.2	117.18	△5.5	96.7	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。

(注) 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税引前)込みです。

(注) 受益者利回りは、設定来の年率換算利回りです。

(注) 米ドル/円為替レートは、当日の東京時間午後3時におけるロイター画面「JPNU」に表示される米ドル/円為替相場(1米ドルに対する円の価値)の仲値(売値と買値の平均値(小数点以下第3位切捨て))です。米ドル/円為替レートは、参考為替であり、当ファンドのベンチマークではありません。米ドル/円為替レートの仲値は、トムソン・ロイター・マーケティング株式会社のデータを基に、岡アセットマネジメントが算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		米ドル/円為替レート (参考為替)		債組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首)	円	%	円	%	%
2015年7月17日	9,952	—	124.05	—	96.8
7月末	9,960	0.1	124.05	0.0	96.3
8月末	9,947	△0.1	121.14	△2.3	96.4
9月末	9,946	△0.1	119.90	△3.3	96.5
10月末	9,942	△0.1	121.15	△2.3	96.5
11月末	9,952	0.0	122.76	△1.0	96.5
12月末	9,930	△0.2	120.38	△3.0	95.9
(期末)					
2016年1月18日	9,924	△0.3	117.18	△5.5	96.7

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初為替	76.18円 ※2012年1月31日、2012年2月1日及び2012年2月2日における米ドル/円為替レートの平均値 (小数点以下第3位切捨て)とします。 《参照した3営業日間の米ドル/円為替レート》 2012年1月31日 76.19円 2012年2月1日 76.22円 2012年2月2日 76.14円			
分配額判定為替	71.18円 ※当初為替に対して5円円高米ドル安の為替レートとします。			
ファンドの信託報酬率	毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.4644% (税抜0.43%) うち委託会社 年率0.4320% (税抜0.40%) うち受託会社 年率0.0324% (税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。 設定日：信託財産の元本総額に対して2.10% (税抜2.00%) 販売会社 2.10% (税抜2.00%) ※設定日における消費税率は5%です。			
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	高位の目標分配額 各期80円	低位の目標分配額 各期20円		
	※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものです。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。 ※各計算期間において大量の途中換金の申込を受付けた場合には、目標とする分配額の一部あるいは全部をお支払いできないことがあります。			
ユーロ円建て債券の発行体	モルガン・スタンレー ※債券の銘柄入れ替えを行う場合があります。	発行体格付 スタンダード・アンド・プアーズ ムーディーズ	設定日 A- A2	当期末 BBB+ A3

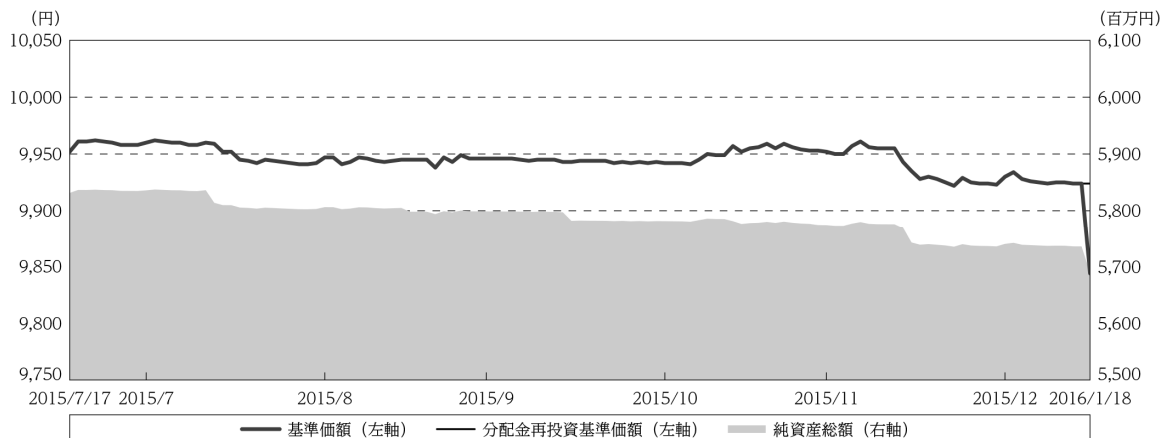
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年7月18日～2016年1月18日)



期首：9,952円

期末：9,844円 (既払分配金(税引前):80円)

騰落率：△ 0.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年7月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・当ファンドが組み入れているモルガン・スタンレー発行のユーロ円建て債券の保有期間に応じた収益が積み上がったことが、プラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・当ファンドが組み入れているユーロ円建て債券の価格が下落したことがマイナスに寄与しました。

投資環境

(2015年7月18日～2016年1月18日)

(債券市場)

中国景気減速に対する懸念が高まり、世界的に株価が下落したことに加え、国内景気の先行き不透明感から、長期債利回りは低下しました。さらに、日銀の金融緩和政策の継続により中長期的な国債需給の引締まりが意識されたことから、長期債利回りは低下基調を辿りました。2015年12月中旬以降は、日銀が「量的・質的金融緩和」を補完するための措置を決定したことに加え、中国経済の先行き不透明感や原油安を受けた世界的なインフレ期待の低下から、長期債利回りは一段と低下しました。

(為替市場)

期首から米国の利上げ期待の高まりを受け、米ドルが対円で堅調に推移しました。しかし2015年8月中旬以降は、中国経済の減速懸念や世界的な株安の影響から、米ドルが対円で下落しました。12月初旬にかけて、中国経済への懸念が和らいだことや、米国の年内利上げが意識されたことから、米ドルが対円で戻りを試す場面もありました。ただその後は、中東情勢の緊迫化や原油安に伴う世界的な株価下落を背景にリスク回避の動きが強まり、米ドルが対円で下落しました。この結果、当期間において、米ドル/円為替レートは5.5%程度下落しました。

(クレジット市場)

モルガン・スタンレーの信用スプレッドは、期首から2015年10月上旬にかけて、中国の景気減速に対する懸念や米国の利上げ観測の高まりの影響を受けて、拡大基調を辿りました。その後は、欧州中央銀行(ECB)の追加緩和期待を背景に、信用スプレッドは縮小に転じました。期末にかけては、中国株安・人民元安や原油価格の下落から、世界的に株価が大きく下げる中、信用スプレッドは拡大しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年7月18日～2016年1月18日)

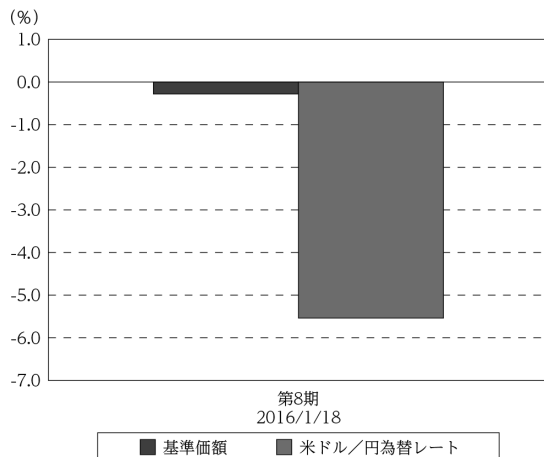
当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日(2012年1月31日)に買い付けた、米ドル/円為替レートの水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つ、モルガン・スタンレー発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。期中に一部解約があったため、ユーロ円建て債券を解約相当額売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

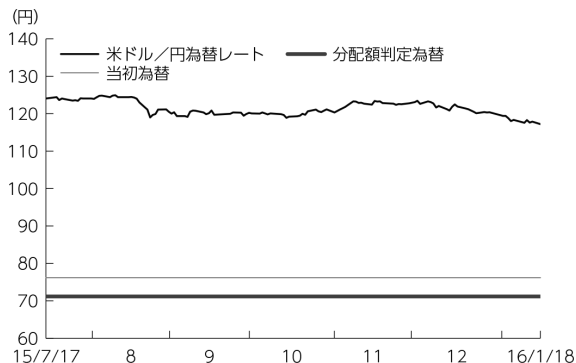
(2015年7月18日～2016年1月18日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考為替としている米ドル/円為替レートの騰落率を5.2%上回りました。

基準価額と参考為替の対比 (騰落率)



米ドル/円為替レートの推移



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考為替は、米ドル/円為替レートです。

分配金

(2015年7月18日～2016年1月18日)

当期の収益分配金は、分配額判定日 (2015年12月15日) の米ドル/円為替レートの水準が120.82円となり、分配額判定為替である71.18円よりも米ドル高円安となっていたため、高位の目標分配額である1万円当たり80円 (税引前) とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年7月18日～2016年1月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 23	% 0.236	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(22)	(0.220)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(－)	(－)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.241	
期中の平均基準価額は、9,946円です。			

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年7月18日～2016年1月18日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	普通社債券(含む投資法人債券)	千円 —	千円 72,077

- (注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)
 (注) 単位未満は切捨てです。
 (注) 普通社債券(含む投資法人債券)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年7月18日～2016年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月18日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	5,657,084 (5,657,084)	5,500,383 (5,500,383)	96.7 (96.7)	— (—)	— (—)	— (—)	96.7 (96.7)
合 計	5,657,084 (5,657,084)	5,500,383 (5,500,383)	96.7 (96.7)	— (—)	— (—)	— (—)	96.7 (96.7)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) B B格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当		期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円		
MORGAN STANLEY20170111	—	5,657,084	5,500,383	2017/1/11	
小 計		5,657,084	5,500,383		
合 計		5,657,084	5,500,383		

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 利率は、米ドル/円為替レートの水準によって決定されます。

○投資信託財産の構成

(2016年1月18日現在)

項 目	当		期		末
	評 価 額	比 率			
公社債	千円	%			
	5,500,383	95.7			
コール・ローン等、その他	249,857	4.3			
投資信託財産総額	5,750,240	100.0			

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,750,240,088
コール・ローン等	247,931,266
公社債(評価額)	5,500,383,278
未収入金	950,909
未収利息	144
その他未収収益	974,491
(B) 負債	61,110,407
未払収益分配金	46,234,711
未払解約金	989,600
未払信託報酬	13,568,521
その他未払費用	317,575
(C) 純資産総額(A-B)	5,689,129,681
元本	5,779,338,972
次期繰越損益金	△ 90,209,291
(D) 受益権総口数	5,779,338,972口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,844円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.9844円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は90,209,291円です。

(注) 当ファンドの設定元本額は6,606,092,247円、期首元本額は5,859,498,972円、期末における元本残存率は87.4%です。

○損益の状況 (2015年7月18日～2016年1月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	67,277,234
受取利息	66,302,743
その他収益金	974,491
(B) 有価証券売買損益	△ 1,428,801
売買損	△ 1,428,801
(C) 有価証券評価差損益	△68,450,140
(D) 信託報酬等	△13,975,743
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△16,577,450
(F) 前期繰越損益金	△28,039,854
(G) 解約差損益金	642,724
(H) 計(E+F+G)	△43,974,580
(I) 収益分配金	△46,234,711
次期繰越損益金(H+I)	△90,209,291

(注) 損益の状況の中で、(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金
計算期間末における当ファンドの配当等収益額(67,277,234円)から経費(13,975,743円)を控除した額(53,301,491円)に、期末の受益権口数(5,779,338,972口)を乗じて期中の平均受益権口数(5,814,898,972口)で除することにより分配可能額は52,975,535円(10,000口当たり91円)であり、うち46,234,711円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	80円
支払開始日	2016年1月22日(金)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。